

平成 30 年度

# 技術本部成果発表会

昨年度の研究成果を多くの皆様にご報告し、JASA 技術本部の活動にご理解いただくことを目的に成果発表会を開催いたします。

発表会后、発表者・技術本部委員との交流を深めていただくため、交流会をご用意いたしました。お申込みは先着順ですので、お早目のお申込みをお待ちしております。

日 時 平成 30 年 5 月 10 日 (木) 受付開始 11:20～ (受付にてお名刺を 1 枚ご提出下さい。)

発表会 11:50～16:55 / 交流会 : 17:30～19:30

場 所 発表会 : TKP 東京日本橋カンファレンスセンター ホール 5B

東京都中央区八重洲 1-2-16 TG ビル 別館

[map] <https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-nihombashi/>

交流会 : 地鶏匠

<https://tabelog.com/tokyo/A1302/A130202/13210189/>

参加費 発表会 : 無料

交流会 : 会員 3,500 円/人(税込) 一般 4,000 円/人(税込)

\*参加費は発表会の受付で現金にてお支払いいただきます(領収書を発行いたします)。

H30 年 発表プログラム	11:50	～	11:55	開会あいさつ
	11:55	～	12:15	【安全性向上委員会】安全仕様化 WG
	12:15	～	12:35	【安全性向上委員会】ロボット安全WG
	12:35	～	12:55	【安全性向上委員会】情報セキュリティWG
	12:55	～	13:15	【アジャイル】
	13:25	～	13:45	【応用技術調査委員会】ロボティクスWG (プラットフォーム WG)
	13:45	～	14:05	【応用技術調査委員会】OSS 活用WG
	14:05	～	14:25	【応用技術調査委員会】状態遷移設計研究WG
	14:25	～	14:45	【ハードウェア委員会】
	14:55	～	15:15	【IoT 技術高度化委員会】ドローンWG
	15:15	～	15:35	【IoT 技術高度化委員会】エモーションWG
	15:35	～	15:55	【IoT 技術高度化委員会】エネルギーハーベスティングWG
	15:55	～	16:15	【IoT 技術高度化委員会】組込み IoT モデリングWG
	16:25	～	16:40	IPA
	16:40	～	16:55	都産技研

お 申 込 方 法 : Web フォームにて受付けております。

Web 申し込フォーム <https://goo.gl/forms/u5tsldPz8IJ8zcqS2>

問 合 せ 先 : JASA 本部事務局 樋口宛 TEL:03-5643-0211 E-mail: [higuchi@jasa.or.jp](mailto:higuchi@jasa.or.jp)

【 締 切 り 】 満席になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申込みください。

◆発表プログラム概要			
委員会名	ロボット安全WG	講演者氏名	松本栄志
講演テーマ名	生活支援ロボットの安全設計 STAMP/STPAによる安全性解析		
講演概要	ロボット市場の伸長に伴いロボットの安全設計が注目されている。本講演では生活支援ロボットの機能安全設計事例として、STAMP/STPAを用いたハザード分析、事例解析について紹介する。		
委員会名	ロボティクスWG(プラットフォームWG)	講演者氏名	古俣 学
講演テーマ名	プラットフォームWG活動報告 生活支援ロボットの仕様		
講演概要	ロボットのモータ制御やセンサ等のデバイス入出力ソフトウェア・インタフェースの国際標準化に向けたOpenEL(Open Embedded Library)使用事例として、次世代の生活支援ロボットのプラットフォーム搭載について報告する。		
委員会名	OSS活用WG	講演者氏名	竹岡尚三
講演テーマ名	ロボット、機械学習AI OSSの紹介とOSSの品質についてのアプローチ		
講演概要	オープンソースソフトウェア(OSS)は無償で利用できるソフトウェアである。高度なロボットやドローンをつくり上げることができる大規模なOSSミドルウェアが、自動運転、ロボットなどで使用されている。また、人工知能(AI)ソフトウェアもOSSが多数ある。それらの大規模OSSミドルウェアの紹介を行う。また、当WGでは、OSSの品質評価について取り組んでおり、そのアプローチと2016,2017年度の成果について述べる。		
委員会名	状態遷移設計研究WG	講演者氏名	青木 奈央
講演テーマ名	状態遷移設計研究WGの活動報告		
講演概要	レガシーコードの蘇生術、リバースモデリングツールRExSTMの進捗 状態遷移設計研究WGで2014年度から過去3年間にわたり議論、開発をしてきたリバースモデリングツールの活動とリリースに向けた取り組みの報告		
委員会名	エモーションWG	講演者氏名	國井雄介
講演テーマ名	スマートライフにおけるエモーションデータの活用検討-COMMAハウス デモ事例紹介		
講演概要	エモーションワーキンググループでは、「感情とIoTの融合」という切り口で、エモーション(感情)活用したサービスモデルの検討などを行っている。 17年度の活動を通じ、様々な団体と連携する機会を頂き、活動の幅を広げてきた。本セミナーでは、エモーションワーキンググループ17年度の活動実績の紹介と共に、東大RC88との連携で行っているCOMMAハウス(スマートハウス)でのデモ事例を紹介する。		